

米沢興譲館高校SSH通信

2 学年理数探究科サイエンス研修

8月3日(火)～8月5日(木)の2泊3日の行程で、「岩手・宮城方面サイエンス研修」を実施した。水沢VLBI観測所、小岩井農場、バイオマスパワーしずくいし、岩手県立工業技術センター、国際リニアコライダー (ILC)、岩手大学、南三陸震災学習、仙台市天文台に赴き、日常では体験できない専門的・先端的な研究機関等を訪問することで、「本物」をみることによるセンス・オブ・ワンダー体験により、キャリア形成の醸成を図った。

サイエンス研修1日目

2年理数探究科 男子

サイエンス研修1日目の研修場所は国立天文台水沢VLBI観測所でした。VLBIとは、複数の電波望遠鏡のデータを合成し、1つのデータを構成する技術です。国内4か所の望遠鏡のデータは水沢キャンパス内で処理されます。所長の本間希樹さんはブラックホール撮影に成功された方で、今回ブラックホールや電波望遠鏡についての講演を拝聴しました。国際協力の苦労や物事を達成させる秘訣、アインシュタイン方程式により、存在しうると考えられたブラックホールを100年越しで撮影に成功されたというのは、ロマン溢れるお話でした。

本間さんのチャレンジ精神に倣い、自分も心が惹かれるものに飛びついていけるような人でありたいと思いました。



国立天文台水沢VLBI観測所



小岩井農場



バイオマスパワーしずくいし



校外ならではの「学び」

2年理数探究科 女子

岩手大学の理工学部、農学部の研究室を見学、また行っている研究について教授ご本人に教えていただき、「大学での学び」についてより具体化して考えることができました。研究の内容は高校での基礎の学習が繋がっていると感じるものばかりで、高校で自分たちがしている学習の積み重ねが高度な研究に繋がるのだと思いました。今、SSHでの課題研究を通して、1つの実験にどれだけの時間、労力を要するのかを実感しています。そのため、大学での複雑な研究に少し不安を感じていましたが、研究室のメンバーの方々ひとりひとりが自分の興味と向き合って本当に楽しそうに研究している姿を見て、自分も大学で納得のいくまで研究をしてみたいと思いました。他にも、ILCオープンラボをはじめ、様々な企業で広い分野の知識に触れることができ、サイエンスへの関心も深まりました。学校での授業だけでは体験できなかった、今回の研修から得た新しい知識や見方を、自分の将来への肥やしにしていきたいです。



国際リニアコライダー (ILC)



岩手県立工業技術センター



岩手大学



陸前サイエンス見聞録

2年理数探究科 男子

私たちはサイエンス研修3日目の午前、南三陸で震災学習をしました。私たちも実際に小学校入学直前に東日本大震災を経験しましたが、山形県には太平洋からの津波の被害はありませんでした。今回、実際に被災地を目にすることで、津波の高さや大きさ、威力など恐ろしさを知ることが出来ました。また、ボランティアや地域の方々の計り知れない努力からの復興は私たちに勇気を与えてくださいました。

午後からは仙台市天文台を見学させていただきました。とても興味深い展示が多く、2学年理数探究科全員の探究心がくすぐられました。宇宙というものは、様々な力を持っている気がします。

今回の研修はコロナ禍という厳しい状況で責任を伴う行動の必要性を学びました。これからの生活に生かせるようにしたいです。



南三陸震災学習



仙台市天文台



168

山形県立米沢興譲館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

